



塩浜学園学校運営協議会だより

市川市立塩浜学園
学校運営協議会
第3号
平成28年10月28日

～前期評価により、飛躍する塩浜学園の今後に注目！～

第3回学校運営協議会概要

- 《日時》 平成28年9月24日（土）15時00分～16時30分
《場所》 塩浜学園前期課程校舎 図書室
《構成》 学識経験者・地域関係者代表・保護者代表・指定学校の校長・指定学校の教職員（計15名）
《次第》 協議・報告 ①前期評価について
②夏休みの活動について
③海洋教育について

【協議会の内容】

①前期評価について（協議）

《提案の概要》（抜粋）

今年度より義務教育学校となったため、データをひとまとめにしました。学習面では、「複数の先生や中学校の先生に教わることでわかるようになった」という児童・生徒の回答が上昇しました。しかし、家庭学習の習慣が身につけていないため、もっと力を注いでほしいという保護者のご意見があります。本校では、子どもの様子をしっかりと見ながら、少し長いスパンで継続して指導して参ります。次に、豊かな心の面では、「誰にでもやさしく関わったりできる」という児童・生徒の回答が上昇しました。また、「いじめについても絶対によくない」という項目で高い数値が得られました。問題の早期発見に努めて、全校の体制で支援していき、個別の対応も丁寧に進めていきたいと考えています。生活面では、保護者から見て、「進んであいさつをしている」や「自分の役割に責任を持って取り組んでいる」ことが高く評価されています。しかし、「規則正しい生活習慣」という点で、やや下降傾向にあります。今後は、家庭の協力も仰ぎながら、子どもたちが自分の意識を高められるように改善を図ってまいります。体力面では、5・6年生から部活動に参加していることもあって、保護者から見て、進んで体を動かしている子どもたちが多くいると評価されています。基本的自尊感情（自分は自分であるという他者との比較ではなく、絶対的に感じる感情）という観点では、昨年度と比べ、8年生・9年生で数値が大きく上昇したため、一年間の成長が感じられます。自己存在感の価値はどの学年も高いのですが、自己受容感の値が低く、特に5年生以降が低くなっている傾向が見られます。今後、自己受容感を高めるような指導を、教職員と相談しながら進めていきたいと考えています。教職員対象のアンケートでは、「子どもたちの時間に対する意識が昨年度と比べ、よくなっているように思える」や「体育祭の1・2年の表現の曲が流れると今でも踊っているので、生徒たちにとってもいい体育祭になった」「教育活動において、職員の協力体制が充実しており、開校2年目で昨年度よりもスムーズに進められている」という意見があがりました。しかし、「学年間の更なる連携が必要である。縦のつながりも必要と感じる」といった課題もありますので、今後もしっかり取り組んでまいります。信頼される学校という観点では、「学校はおたより等で様子を十分保護者に伝えている」や「学校は保護者や地域の方が、学校行事に参加しやすいように努めている」等で、昨年同様、高い評価をいただいております。今後も、学校の教育活動を十分にお伝えして、協力をお願いしたいと考えております。

《協議の概要》（抜粋）

- これらの数値から、具体的な対応策が見つかると思います。
- ほとんどのアンケート項目で評価が8割を超えているため、そういった意味では全体的に評価されているところかと思えます。
- 自己肯定感の評価が高いということに注目してよいと思います。何事も自己肯定感が関わらないと周りも成長しないですし、取り組みも主体的になりません。
- 家庭学習において、親と子で捉え方が違うため、家庭学習の定義を提示してもらいたいです。
- もう少し時間が経てみないと評価できないという感覚です。
- 生徒、保護者、教職員において同じような内容のアンケート項目もありますが、そこで数値に違いが生じた場合の検討が大事だと思います。

様々な関係性のなかで、どう変化しているかが次のテーマの課題になります。学校側が環境を設定して、どのように児童生徒の学習意欲を喚起させていくかが大事になるため、今後もさらに注目していきたいという協議がなされました。

②夏休みの活動について（報告）

《報告の概要》（抜粋）

「はまっこくらぶ・はまっこサポート」が夏休みよりスタートしました。「はまっこサポート」のカードは、各所属団体の構成員全員に配付します。また、各行事等でのボランティア参加者にも配付します。みんながカードを持っているということで一体感を築きたいと考えています。活動したものについて、名簿に記入をして持ってきてもらうようにしてあります。「はまっこサポート」の活動があるから、中学生もボランティア活動に参加するよう周知し、みんながこのカードを持っているというふうになっていけばよいと思います。ビーイング夏祭りや塩浜夏祭り、そして、サマーキャンプでは、保護者の方々のご協力もあり、子どもたちはとても楽しい時間を過ごすことができました。また、ラジオ体操も今年度PTAの方々に工夫をしていただき、学級長さんの組織に委ね、ずっと続けていける活動にしていこうということになりました。その結果、PTAの方々の取り組みがとてもよかったというご意見をいただきました。

③海洋教育について（報告）

《報告の概要》（抜粋）

まず、野鳥観察舎から三番瀬に向かって飛んでいる何千羽にもなる鶺鴒の映像を見せ、子どもたちの学びたいという興味を膨らませてからスタートしました。9月12日に5年生と6年生が妙典から一隻ずつ船に乗り、東京湾に出て塩浜の町を眺めました。ディズニーリゾート付近まで進み戻ってくるコースでした。船頭さんがいろいろと海のことを説明して下さいました。乗船したことで、子どもたちは様々な疑問を抱きました。ある子どもが見た様子では、川の色と海の色は違うと感じたそうです。今後、このような疑問を抱いたことを調べていきます。そして、子どもたちが興味を持ったこと、調べたことをもとにまとめを行い、発信していく予定です。今回は、「海洋教育パイオニアスクールプログラム」の助成をいただき、「塩浜ふるさと防災科」の一貫として進めています。子どもたちにとって、とてもよい体験であったと思います。海洋教育は、5・6・7年生のMブロックを中心に取り組んでいくため、今後7年生も海についての講演会を開催するなどして、海洋教育を進めていきたいと考えております。

《②③について各委員による意見の概要》（抜粋）

- 今回のように知的好奇心をくすぐってあげると、子どもたちは大いに反応するということが、とてもよくわかりました。
- 他の学校ではありえない体験をさせていただいたことは、非常に感謝しています。塩浜学園は特に理系の先生方が充実している学校ですので、こういう意味で先生方が子どもたちの知的好奇心が湧いてくるような工夫をして下さっていると思います。
- 今回は楽しんで行ってきた部分が強いと思いますので、次回は勉強するという形で乗船できるかと思いました。
- 事故もなく、無事に帰って来ることができてよかったです。
- 子どもたちが書いた感想を読むと、いろいろ自分の興味に気づく、本当に素晴らしい体験であったと思います。
- 子どもたちが楽しく感想を書いてくれています、まさにその通りだと思います。
- やはり船で行けたということが、子どもたちにとってとてもうれしかったのではないかと思います。
- 海の生態を勉強すると同時に、海は生き物であるため防災の観点からも、津波がくるなどのアクシデントをふまえながら、こういう面の勉強も足していただけるとよいという気がしました。
- 5、6年生がこんなことをしているという情報を、他学年にも知らせていただくことがとても大事だと思います。そのために発表などの場を設けていただきたいです。
- 自分の興味があるものをひとつでもいろいろな形にでき、興味を持ってそれを研究していくことは重要だと思います。また、早い段階でいろいろなことを経験できることも、とても重要なことだと思います。
- 体験すること、船に乗ること、釣った物を触るということがいちばん大切なことだと思います。そして、地域全体でやるなど広げてやっていきたいです。
- せっかくこのフィールドは海に近く三番瀬もあるのですが、どうやってこのフィールドを子どもたちのために活かせばよいのかとずっと思っていたのですが、実現できませんでした。しかし、今回の話を聞いて、こんな方法もあったのかと思いました。子どもたちも多くの感想が書けるのですから、どうやって続けていけばいいのかが今後の課題だと感じます。
- これからも塩浜学園が自分たちのフィールドだと思って、大事に利用していただけるといいと、子どもたちの楽しそうな写真や感想を見て思いました。

【学校運営協議会の開催予定】

学校運営協議会は、保護者や地域住民の方々の傍聴が可能ですので、協議会当日、開始時刻の10分前までに会場へ直接お越し下さい。なお、スリッパ等の履き物をご持参下さい。

《第4回》平成28年12月10日（土）13時30分より 塩浜学園前期課程校舎 図書室

《第5回》平成29年 2月18日（土）13時30分より 塩浜学園前期課程校舎 図書室

* 日程等につきましては、変更が生じる場合もございますのでご確認下さい。